

令和4年度 江戸川区立北小岩小学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標	○心豊かでやさしい子 ○よく考え表現する子 ○体をきたえ元気な子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○「誠実さ(品性)・情熱・自律(規律)・結束・敬意」の5点を軸に教育活動を常に評価・検証し、主体的に業務改善に努める学校 ○個性を生かし「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を獲得する児童 ○自己研鑽と研究・研修に励み、豊かな人間性、広い社会性、高い専門性を身に付け、教育課題の解決に努める教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<p><成果> 生活指導上の課題には迅速に対応でき、大きな問題にはならず解決することができた。特にエンカレッジルーム対応の児童への手立て等は学校全体の共通した認識で実施することができた。江戸川区教育課題実践推進校として体育科の研究に取り組み、授業の改善、研究方法を深め、区内の学校に発表することができた。</p> <p><課題> 今後も体育科や道徳科の学習でオリンピックレガシーに取り組み、継承していく。 全国学力調査において、算数科は東京都の正答率を下回ったので、少人数指導や補習等の体制を見直し、改善に努める必要がある。</p>		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		来年度に向けた改善策	
					取組	成果	成果と課題	評価		コメント
いきいきと学ぶ学校づくり	確かな学力の向上	・補習の実施や東京ベーシックドリルの活用によるきめ細やかな指導の充実と授業力の向上 ・一人一台タブレット端末を活用した個別最適な学びの実現	・校内教員による補習教室…年25回以上 外部委託による補習教室…年120回 東京ベーシックドリル診断シート…年3回 ・個別の課題に対応できる学習アプリの導入	・東京ベーシックドリル正答率 80%以上 ・児童アンケート肯定的な回答 80%以上	B	B	○補習教室や診断シートの計画実行 ○補習対象の中下位児童のベーシックテストC60%達成率が90% ○学習アプリの導入による、児童個々に応じた学習内容を精選した指導の実施 ○児童アンケート肯定的な回答全学年80%達成 ●算数科以外の課題のある児童への対応 ●中位の児童への基礎基本の徹底 ●外部委託業者補習と学級担任との連携	A	いつも落ち着いた雰囲気での授業が行われていて大変すばらしいと感じている。子供たちの学力の定着と向上に今後も尽力してもらいたい。 アンケートから子供たちも満足している様子でよいと思う。中位層、下位層の子供たちの底上げを今後ともよろしく願いたい。	
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	運動遊びの実施…年25回以上 体育授業の改善…運動時間+5分 コーディネーショントレーニング地域拠点校の取組	体力テスト体力合計点全学年全項目で東京都平均を上回る	B	B	○コーディネーション推進校としての取組 ○行間運動遊びの年35回の計画実行 ●平均より下回る学年が多かった「長座体前屈」「シャトルラン」「反復横跳び」「上体おこし」への対策	B	コーディネーショントレーニングの地域拠点校としての取り組みは素晴らしいと思う。今後も継続してぜひ続けてもらいたい。体幹はすべてのスポーツに通じるところなので、今のうちから意識させてもらえたいと思う。 体力テストにおける課題も明らかになったようなので、来年度の課題としてほしい。反復横跳びなどは子供たちにはできるのだろうか。練習も必要なのではないだろうか。	体力テストに関しては、一つ一つの種目を教え、練習する時間を設ける。特に反復横跳びやソフトボール投げなどは練習を確実にし、全員ができる状態で計画に取り組む。
	読書科の更なる充実	・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	探究的な学習 学校図書館を活用する授業の実施	探究的な学習の実施…年3回以上 学校図書館を活用する授業の実施…週1回以上 児童アンケート肯定的な回答 80%以上	B	A	○職員全体で学校図書館の図書購入選定への参加による、計画的な必要図書の購入 ○毎月の小岩図書館の団体貸出 ○3・4・6年の全員が調べる学習コンクールへの出品 ○年間計画に沿った、系統的な授業の実施 ○小岩図書館サテライトによる活用の多様化と司書の連携 ○児童アンケート肯定的な回答全学年80%達成 ●読書科の指導法のさらなる充実	A	北小岩小学校の学校図書館が小岩図書館のサテライトとなったことは地域としてはうれしいことである。まだ、浸透していない部分もあるから、今後も広く周知して欲しい。 調べる学習コンクールという取り組みがあるのも初めて知った。自分で課題を取り組んで学ぶことは素晴らしいことなので、学校として取り組んでいき、探究的な学習ができる子供たちを育ててほしい。	
		ICTアシスタント、情報リーダーによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	タブレットを活用した授業の日常化とGIGA研修の実施	GIGA研修実施…週1回以上 児童アンケート肯定的な回答 80%以上	A	A	○週一回のGIGA研修の実施 ○研修後の検証授業の実施 ○児童アンケート肯定的な回答85%	A	先生方が授業などで進んで取り組んでいるのがよく分かった。児童のアンケートも肯定的な回答が85%というのは素晴らしい結果だと思う。	
特別支援教育の推進	共生社会の実現に向けた教育の推進	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の充実	コーディネーター、特別支援指導担当教員、外部講師による特別支援教育研修	・学期に2回実施 ・教職員学校評価の回答	B	A	○エンカレッジルームの積極的活用 ○学級支援員や介助員と担任との連携 ○空き時間の教員が交代で、課題のある児童への指導を行う等、組織的な対応	A	特別な配慮を要する児童は確実にいると思う。学校全体でフォローして取り組んでくれているのがよく伝わってきた。一人一人を大切にしている学校であることがよくわかる。今後は保護者や地域への啓発活動にも力を入れてほしい。	
	子供たちの健全育成	・子供たちの健全育成に向けた取組	・hyper-QUの実施	・「Q-U」学級満足度要支援群出現率10%未満 ・不登校児童との月1回以上のオンライン面談 ・児童アンケート肯定的な回答70%以上	B	B	○週一回の生活夕会での、学校全体での積極的な共有 ○hyper-QUでの学級満足度要支援群5% ●不登校児への具体的な支援	B	hyper-QUでの学級満足度が低いという児童の数が少ないという結果は素晴らしいと感じる。学級での居心地の良さがいいのだろう。 ただし、一定数いる不登校を解消していく努力は今後も継続してほしい。コロナ対応の休校あたりから世の中全体がおかしくなってきたのは私たちも感じている。	不登校ゼロを目指して、魅力ある学校づくりに取り組む。様々な視点から多角的に検討を進め、研究していく。
学校と家庭、地域、関係機関との連携強化	学校関係者評価の充実	教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施・改善	学校関係者評価委員会…年3回 中間評価、最終評価の公表	児童アンケート 肯定的な回答80%以上 保護者アンケート 肯定的な回答80%以上	B	B	○学校関係者評価委員会の定期開催 ○学校公開・各行事における感想用紙での意見集約 ○児童アンケート肯定的な回答全学年85%達成	B	新型コロナウイルス感染症対策で安定した開催ができなかったのは残念であるが、今年度後半に参観等が実施できたのはよかった。実際に子供たちの様子を見てみると学校の取り組みがどのようになされているかわかるのでよい。	学校関係者評価委員会は年間の行事予定に組み込み、計画的に実施していく方向である。 アンケートなどは児童用端末からFormsを使用して集約する方法を中心に取り入れていきたい。
		各機関と定期的な連携	・hyper-QUの結果を検討会をもとに、関係機関に必要な情報を報告する。	・hyper-QU検討会…8月実施 ・児童相談所との定期的な連絡…月1回以上	B	B	○担任・専科・特支を交えた検討会の実施 ○SSWとの定期的な報告会及び、必要時には即時面談を設定	B	関係諸機関と定期的に連携をとれているのは素晴らしいと思う。SSWが今年度から地域ごとに配置されたことを知り、区との取り組みも知ることができた。	SSWとの連携は年間通じて連携していく。依頼する内容等は検討していく必要がある。
特色ある教育の展開	「学校における働き方改革プラン」	「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施	学校経営支援を担う人材の導入 会議時間の短縮と回数の削減	・副校長補佐の導入 ・夕会…週2回から週1回の実施に削減	B	A	○副校長補佐の導入により副校長の作業の軽減 ○週1回の夕会と校内掲示板の併用 ○オンライン研修に、資料作成や印刷の負担軽減	A	先生方の平均在校時間が短くなってきているようで安心しました。先生方には元気で健康でいていただきたい。会議の精選や人材の活用、ICTの利用で先生方の負担が削減されているのはいいと思う。	
		「なかよし班活動」の取組による畏敬の念や思いやりの心の育成	なかよし班活動…月1回以上 ロングなかよし班活動…2学期以降月1回	児童アンケート 肯定的な回答80%以上	B	B	○なかよし班活動での異学年交流 ○わくわくタイム(行間運動遊び)でのなかよし班での交流 ○児童アンケート肯定的な回答全学年85%達成	A	縦割り班の活動は意識的・計画的に取り入れてくださっていてよいと思う。地域での交流が少なくなっている現代において学校で行ってもらえるのは有り難いことである。	
		俳句指導による思考力・表現力の向上	俳句の作成…年4回以上 句会…年2回以上 俳句コーナーの更新…年5回以上	児童アンケート 肯定的な回答80%以上	B	B	○本校の特色ある取組として、通年における計画的な指導 ○校内学方向上委員会での計画的な掲示・発表計画 ○高学年での句会の実施。土曜授業などでの公開。	B	学校の特色として俳句は歴史あるものになってきている。子供たちは国語で俳句は学習するのだから子供たちの興味関心を高めていく努力はしていかななくてはならないだろう。	俳句学習においてゲストティーチャーを招いて子供たちに話をしていたなど興味関心を高める工夫を取り入れていく。